

上毛

里山ビジネスと 移住交流の仕組みづくり

特集 住みたい上毛町推進プロジェクト

8

こうげ町広報 August 2015 VOL.118

CONTENTS

- 町の掲示板.....2
- 町の話.....9
- カルチャニ.....13
- 町の情報ひろば.....14
- 素敵人.....16

http://www.town.koge.lg.jp



町の花(春) 桜

町の花(秋) コスモス

町の木 梅

●編集発行／上毛町役場企画情報課

●印刷／築上印刷有限会社

〒871-0092

福岡県築上郡上毛町大字垂水1-321-1

TEL 0979-723111

FAX 0979-724664

人の動き

6月30日現在

- 世帯数 3,145 (-1)
- 男 性 3,732 (-3)
- 女 性 4,151 (-2)
- 人 口 7,883 (-5)

65歳以上 2,576 (+4)
(うち外国人3人) 32.7%
75歳以上 1,400 (±0)
(うち外国人2人) 17.8%

うち外国人

- 人 口 24(±0)
- 男 性 15(±0)
- 女 性 9(±0)
- 世帯数 21(±0)
(うち混合世帯3)

参考

平成17年10月11日
合併時
●人 口 8,499
●世帯数 3,057

ごみの量

6月30日現在

- 可燃ごみ 150.61t (+18.38t)
- カン・ペットボトル 2.96t (+0.42t)
- びん 5.34t (+1.08t)
- 古紙他 15.08t (+5.16t)
- 可燃粗大 2.98t (-2.12t)
- 不燃 5.89t (-3.34t)
- プラスチック製容器包装 2.02t (+0.26t)
- 紙/バック、白色トレイ 0.07t (+0.02t)

※()内は前月増減

環境対応型植物油インキ
を使用しております。

こうげ
KOGÉ absolute peach
素敵人

上毛町地域おこし協力隊員
若岡 拓也さん(安雲)

交流と移住の案内役として 人や暮らしの機微を紡いでいきます

「きる」ことと、切っても切れない人生を歩んでまいりました。31歳独身です。生まれも育ちも石川県金沢市で、実家は祖父の代から床屋を営んでおります。幼いころから両親がお客さんの髪をクシですき、ハサミを入れる姿を見て育ちました。成人するまで散髪は自宅でするものだと思っていました。

大学卒業後、昨年までの6年間は地元の新聞社で記者として勤め、ペンを片手に社会を切ってきました(床屋のハサミほどの切れ味はありませんでした)。昨夏で新聞記者稼業と縁を切り、上毛町を知ったのは、昨年末のことでした。それまで、九州は旅行と取材で「来たことがある」程度でした。車のドアも玄関も開けたまま。白昼の路上を散歩するシカ。開けっ放しでのんびりとした雰囲気。そんな集落のある上毛町が好きです。鹿の解体、皮なめし、炭焼き、漆喰塗り、どんどこ焼きのやぐら作り、餅つきなど。昨年末から、わずか半年で様々な体験ができました。それは、ふらりとやって来た若造を、町の方々が快く受け入れてくださっているからに他なりません。玄関だけでなく、心の扉も開けっ広げ。そんな町が好きです。

今夏から、地域おこし協力隊員として田舎暮らし研究サロンに常勤しています。移住を希望される方と町内の皆さんをおつなぎする一助になりたいです。微力ながらも、「拓也」という名前のとおり、町の未来を切り拓きたいと思います。よろしくをお願いします。

「ジャングルの走り方」- 長距離ランナー若岡さんがお話しします -
ブラジルジャングルマラソン出場から3位入賞までの経緯とこれからについてをご紹介します。

■日時・場所 8月9日(日) 14:00～17:00 / 田舎暮らし研究サロン
●申し込み・問い合わせ先 田舎暮らし研究サロン TEL 72-1556



2015 こうげの草をいただく夏

葉草の権威として知られる村上先生をお招きしてイベントを開催します。身近にある野草に秘められたパワーと、摘み方や活かし方などを教えていただきます。



日時 8月29日(土) 13:30(受付13:00～)

場所 西友枝体験交流センター「ゆいきらら」

- 定 員 30名(先着順)
- 参加料 1,000円(保険料、材料代込み)
- 講 師 村上 光太郎氏(崇城大学薬学部教授)
- 内 容 ①講話(野草の力と使い方)
②散策(季節の野草を摘む)
③試食(野草を美味しく)

■申込方法 企画情報課窓口で申込用紙に記入のうえ、提出してください。

■受付期間 8月5日(水)～20日(木)

主催：住みたい上毛町推進プロジェクト(こうげのシゴト)
協力：西友枝体験交流センター運営委員会

●申し込み・問い合わせ先
企画情報課 TEL 72-3111(内線122)

こうげマンが行く! 友枝村と唐原村を結ぶ石碑

大池公園
二つの石碑

下唐原



イラスト/絵本製作委員会 東みどりさん

毎日暑い日が続いているね。こうげマンは涼を求めて大池公園に行ってきたよ。すると公園の周りに二つの大きな石碑があったんだ。

一つはアスレチック広場の前にあり、「道路開通記念碑」と書かれていたよ。昭和30年に友枝村と唐原村が合併して大平村になったんだけど、当時はお互いを繋ぐ道路がなかったんだって。それで連絡道路を造ろうということになって、昭和33年に完成したことを記念するための石碑なんだって。記念碑には全長3700m、総工費2000万円という記録や、当時の村長・村議会議員など、道路の開通に尽力のあった方々の名前が彫られているよ。

もう一つは大池の北側、高速道路の脇にある「小山田、大池、用水路記念碑」な

んだよ。干害に困っていた下唐原の農地に水を供給するために、友枝村の協力で溜池を造ったそうだよ。この溜池のおかげで水不足が解消され、収穫も増大したことを感謝するため、功績のあった方々の名前を刻んだ記念碑を建てたんだって。上毛町はこうした歴史により築かれているんだね。



住みたい上毛町推進プロジェクトの取組みが、テレビで紹介されました。表紙は、取材当日の様子です。

